

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 5年 3月 13日

事業所名 放課後等デイサービスi-stepジュニアプラス

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	1	3	1	色別フロアに分け、蜜にならないように人数調節も行い活動している。	
	2	職員の配置数は適切である	0	2	3	曜日によって、一対一対応になる児がいた場合、職員が不足していると感じる。現在は声をかけ合って補っているが、個別対応が必要な児童が多い曜日は不足していると感じることもある。支援するにあたって、ヘルプ職員をお願いしている状況のため、足りていないと思う。	現在早急に改善検討中
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	1	0	3	段差がある時(所)は、通る時に「足元気をつけて」等の声かけをしている。	現在改善検討中
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	1	4	0	役職者と一般職での意識の開きはあるかもしれない。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	1	3	1	アンケートを受け改善できそうな項目については改善に努めている。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4	0	1		
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0	3	2	外部評価の話聞いた事がない。	
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	1	2	2	研修はhugのセミナーに参加するのみ(オンライン)。セミナー、研修案内はあるが時間帯が厳しく参加できていない。ネット研修については何度か受講している。Hugのセミナーを何回か、職員で参加している(Zoom)。研修という研修は受けれていない。	
適切	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	2	2	1	保護者様へのアセスメントが十分に出来ていない。保護者の方からお話を聞く機会はある時はあるが、「アセスメント」というしっかりしたものは中々出来ず。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	1	3	1		
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	4	1	0	月毎、毎日のミーティングにて活動プログラムの予定を立てている。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	3	2	0	毎月のプログラムが固定化しないように確認している。月1で予定を決めるミーティングをして月ごとの活動内容を決めている。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	3	2	0	長期休暇の課題は事前に多めに用意(プリント課題)している。休日、長期休暇においてはたまかな課題設定となっている。一日の活動設定は、その日の朝に話し合っ	

な 支 援 の 提 供	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	5	0	0	個別と集団の活動内容を設定し実施している。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4	1	0	休日、長期休暇を除いては確認しているが、その時の状況に応じて都度対応になる事もある。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	2	3	0	振り返り等については、次の日に行っている。終了後ではないが、次の日の朝にミーティングをして、前日の子どもたちの状況を共有している。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	1	3	1	午前中はミーティングや支援準備等で、記録をとる時間を設けられていない。その都度、状況に合わせて話し合いを行い、改善につなげている。記録の徹底については努力している。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	3	1	1	職員間でのモニタリングを実施している。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	2	1	2		
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5	0	0		
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	4	0	1	LINEを活用した事で、以前よりは情報共有が行われている。保護者の方から下校時間のお便りを頂くこともある。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	0	4	1		
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	0	3	2	対象児童がいなかった。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	0	3	2	対象児童がいなかった。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	1	0	4	助言、研修を受ける機会がなかった。	今後連携していきたい
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	0	0	5	コロナ禍でなければ取り入れたい。	今後機会を設けるよう検討中
27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	0	2	3	時間帯や予定が合わず、参加できない事が多い。		

	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	1	4	0	出来た事柄等はお伝えしているが、共通理解となっているかは不明。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	1	0	4		今後機会を設けるよう検討中
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	3	2	0		
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	3	2	0	助言はさせていただいている。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0	0	5		今後機会を設けるよう検討中
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	4	1	0	苦情があった場合は、職員間で共有し対応している。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	4	0	1	毎月の予定表配布。月ごとの予定表など月のはじめに渡している。	
	35	個人情報に十分注意している	4	0	1		
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	3	2	0		
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0	0	5		今後機会を設けるよう検討中
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	3	1	1	インフルエンザについては、あまり周知出来ていないかもしれない。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	4	1	0	年2回避難訓練は実施。避難訓練を実施している。年2回実施している。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	1	3	1	チェックリストで毎月確認。3月に研修予定。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	4	0	1	身体拘束については、個別支援計画に記載。保護者にも伝えている。対象となる児童の個別支援計画に記載している。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	2	2	1	保護者からの聞き取りのみで対応。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4	1	0		